

令和5年度 佐賀大学2次試験後期日程 (数学問題)

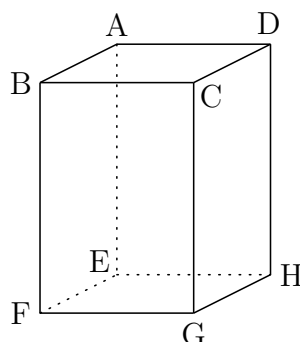
理工・農学部 令和5年3月12日

- 理工学部は, [1] ~ [4] 数I・II・III・A・B (120分)
- 農学部は, [2], [5], [6], [7] 数I・II・A・B (120分)

[1] $0 < a < 1$ とし, 座標平面上の2点 $A(a, 0)$, $B(1, 0)$ を直径の両端とする円を C とする. 円 C 上の点 P における接線は原点 O を通り, かつ P の y 座標は正であるとする. このとき, 次の問に答えよ.

- (1) 円 C の方程式を求めよ.
- (2) 点 P の座標を a を用いて表せ.
- (3) 点 P の y 座標が最大となるような a の値を求めよ.

[2] $0 < a < 2$ とする. $AB = \sqrt{2-a}$, $AD = \sqrt{a}$, $AE = 2$ である直方体 $ABCD$ - $EFGH$ について, $\angle AFC$ を θ とおく. 次の問に答えよ.



- (1) $\cos \theta$ を a を用いて表せ.
- (2) $a = 1$ のとき, $\triangle AFC$ の面積 S の値を求めよ.
- (3) $a = 1$ のとき, $\triangle AFC$ の内接円の半径 r と外接円の半径 R の値をそれぞれ求めよ.
- (4) $\tan \theta$ を a を用いて表せ. また, $\frac{1}{2} \leq a \leq \frac{4}{3}$ のとき, $\tan \theta$ のとりうる値の範囲を求めよ.

3 $\frac{i}{2}$ と異なる複素数 z に対して、複素数 w を

$$w = \frac{z - 2i}{1 + 2iz}$$

で定める。複素数 z および w の共役複素数をそれぞれ \bar{z} , \bar{w} で表すとき、次の間に答えよ。

- (1) $z = 1$ のとき、 w の実部と虚部をそれぞれ求めよ。
- (2) z を w で表せ。また、 \bar{z} を \bar{w} で表せ。
- (3) 複素数平面上で点 z が $|z| = 1$ を満たしながら動くとき、点 w はどんな図形をえかくか。

4 3つの関数 $f(x)$, $g(x)$, $h(x)$ を

$$f(x) = 2e^{-2x}, \quad g(x) = e^{-x}, \quad h(x) = \int_0^x f(x-t)g(t) dt$$

で定める。次の間に答えよ。

- (1) $f(x) = g(x)$ を満たす x の値を求めよ。
- (2) $h(x)$ を x の式で表せ。また、関数 $h(x)$ の極値を求めよ。
- (3) 極限 $\lim_{x \rightarrow \infty} h(x)$ および $\lim_{x \rightarrow -\infty} h(x)$ の値をそれぞれ求めよ。

5 $0 < a < 1$ とし、座標平面上の2点 $A(a, 0)$, $B(1, 0)$ を直径の両端とする円を C とする。円 C 上の点 P における接線は原点 O を通り、かつ P の y 座標は正であるとする。このとき、次の間に答えよ。

- (1) 円 C の方程式を求めよ。
- (2) 点 P の座標を a を用いて表せ。
- (3) $\angle AOP = \frac{\pi}{3}$ となる a の値を求めよ。

6 曲線 $C: y = x^3 - x^2$ について、次の問に答えよ。

(1) $t \neq \frac{1}{3}$ とする。曲線 C の点 $P(t, t^3 - t^2)$ における接線を l とするとき、直線 l の方程式を求めよ。また、曲線 C と直線 l の共有点のうち P と異なる点の x 座標を u とおくと、 u を t を用いて表せ。

(2) 数列 $\{a_n\}$ は次の (i), (ii) を満たしているとする。

(i) $a_1 = 1$

(ii) 曲線 C の点 $P_n(a_n, a_n^3 - a_n^2)$ における接線を l_n とするとき、曲線 C と直線 l_n の共有点のうち P_n と異なる点の x 座標が a_{n+1} である。

このとき、 a_{n+1} を a_n を用いて表せ。さらに、一般項 a_n を求めよ。

7 a, b, c は実数とし、 $x^3 + ax^2 + bx + c$ を $f(x)$ とおく。関数 $f(x)$ は $x = 2$ で極値をとり、整式 $f(x)$ は $f(1 - i) = 0$ を満たすとする。ただし、 i は虚数単位とする。次の問に答えよ。

(1) a, b, c の値をそれぞれ求めよ。

(2) 関数 $f(x)$ の極値を求めよ。

(3) 定積分 $\int_1^2 |f'(x)| dx$ の値を求めよ。

解答例

- 1 (1) $A(a, 0)$, $B(1, 0)$ の中点を M とすると

$$M\left(\frac{a+1}{2}, 0\right), \quad MA = \frac{a-1}{2}$$

したがって, C は中心 $\left(\frac{a+1}{2}, 0\right)$, 半径 $\frac{a-1}{2}$ の円であるから

$$\left(x - \frac{a+1}{2}\right)^2 + y^2 = \left(\frac{a-1}{2}\right)^2$$

- (2) 原点 O を極とする C の極線は ($0 < a < 1$)

$$\left(0 - \frac{a+1}{2}\right)\left(x - \frac{a+1}{2}\right) + 0y = \left(\frac{a-1}{2}\right)^2$$

すなわち $x - \frac{a+1}{2} = -\frac{2}{a+1}\left(\frac{a-1}{2}\right)^2 \quad \dots \textcircled{1}$

① を (1) の結果に代入すると

$$\left(\frac{2}{a+1}\right)^2 \left(\frac{a-1}{2}\right)^4 + y^2 = \left(\frac{a-1}{2}\right)^2 \quad \text{ゆえに} \quad y^2 = a \left(\frac{a-1}{a+1}\right)^2$$

P は C と極線 ① との交点で, y 座標が正である点であるから ($0 < a < 1$)

$$y = \frac{(1-a)\sqrt{a}}{a+1}$$

① から $x = \frac{a+1}{2} - \frac{2}{a+1}\left(\frac{a-1}{2}\right)^2 = \frac{2a}{a+1}$

よって, 点 P の座標は $\left(\frac{2a}{a+1}, \frac{(1-a)\sqrt{a}}{a+1}\right)$

(3) $f(a) = \frac{(1-a)\sqrt{a}}{a+1} = \frac{a-a\sqrt{a}}{a+1}$ とおくと $f'(a) = -\frac{a^2+4a-1}{2\sqrt{a}(a+1)^2}$

$a^2+4a-1=0$, $0 < a < 1$ を解くと $a = \sqrt{5}-2$

a	0	...	$\sqrt{5}-2$...	1
$f'(a)$		+	0	-	
$f(a)$		↗	極大	↘	

よって, 求める a の値は $a = \sqrt{5}-2$

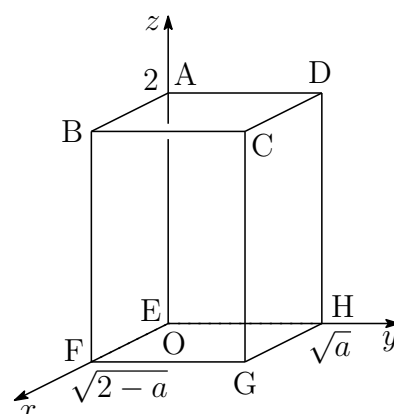
- 2 (1) 右の図のように、直方体 ABCD-EFGH を座標空間にとると

$$\vec{FA} = (-\sqrt{2-a}, 0, 2)$$

$$\vec{FC} = (0, \sqrt{a}, 2)$$

したがって

$$\begin{aligned} \cos \theta &= \frac{\vec{FA} \cdot \vec{FC}}{|\vec{FA}| |\vec{FC}|} = \frac{4}{\sqrt{6-a} \sqrt{a+4}} \\ &= \frac{4}{\sqrt{(6-a)(a+4)}} \end{aligned}$$



- (2) $a = 1$ のとき, $\vec{FA} = (-1, 0, 2)$, $\vec{FC} = (0, 1, 2)$ より

$$S = \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{FA}|^2 |\vec{FC}|^2 - (\vec{FA} \cdot \vec{FC})^2} = \frac{1}{2} \sqrt{5 \cdot 5 - 4^2} = \frac{3}{2}$$

- (3) $a = 1$ のとき, $\vec{AC} = (1, 1, 0)$, $S = \frac{1}{2} r (|\vec{FA}| + |\vec{FC}| + |\vec{AC}|)$ より

$$\frac{3}{2} = \frac{1}{2} r (\sqrt{5} + \sqrt{5} + \sqrt{2}) \quad \text{よって} \quad r = \frac{2\sqrt{5} - \sqrt{2}}{6}$$

- (1) の結果から, $a = 1$ のとき, $\cos \theta = \frac{4}{5}$ より $\sin \theta = \frac{3}{5}$

正弦定理により $2R = \frac{|\vec{AC}|}{\sin \theta} = \frac{\sqrt{2}}{\frac{3}{5}}$ よって $R = \frac{5\sqrt{2}}{6}$

- (4) (1) の結果から $1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} = \frac{(6-a)(a+4)}{4}$

$$\tan^2 \theta = \frac{(6-a)(a+4)}{4} - 1 = \frac{1}{16} (-a^2 + 2a + 8) = \frac{1}{16} \{ -(a-1)^2 + 9 \}$$

$\cos \theta > 0$ より, $\tan \theta > 0$ であるから $\tan \theta = \frac{1}{4} \sqrt{-(a-1)^2 + 9}$

$\frac{1}{2} \leq a \leq \frac{4}{3}$ のとき, $\tan \theta$ は $a = 1$ で最大値 $\frac{3}{4}$, $a = \frac{1}{2}$ のとき最小値 $\frac{\sqrt{35}}{8}$

よって $\frac{\sqrt{35}}{8} \leq \tan \theta \leq \frac{3}{4}$

$$\boxed{3} \quad (1) \quad z = 1 \text{ のとき} \quad w = \frac{1-2i}{1+2i} = \frac{(1-2i)^2}{(1+2i)(1-2i)} = -\frac{3}{5} - \frac{4}{5}i$$

よって, w の実部 $-\frac{3}{5}$, w の虚部 $-\frac{4}{5}$

$$(2) \quad w = \frac{z-2i}{1+2iz} \text{ より} \quad (1-2iw)z = w+2i$$

$1-2iw=0$, すなわち, $w = -\frac{i}{2}$ は上の第2式を満たさないから

$$z = \frac{w+2i}{1-2iw} \quad \text{これから} \quad \bar{z} = \frac{\bar{w}-2i}{1+2i\bar{w}}$$

(3) $z\bar{z} = |z|^2 = 1$ であるから, (2) の結果をこれに代入すると

$$\frac{w+2i}{1-2iw} \cdot \frac{\bar{w}-2i}{1+2i\bar{w}} = 1 \quad \text{整理すると} \quad |w|^2 = 1$$

$w \neq -\frac{i}{2}$ に注意して $|w| = 1$

よって, 点 w は, 原点を中心とする半径1の円をえがく.

$$\boxed{4} \quad (1) \quad f(x) = g(x) \text{ より} \quad 2e^{-2x} = e^{-x}$$

$$2 = e^x \quad \text{すなわち} \quad x = \log 2$$

$$(2) \quad h(x) = \int_0^x f(x-t)g(t) dt \text{ より}$$

$$\begin{aligned} h(x) &= \int_0^x 2e^{-2(x-t)} \cdot e^{-t} dt = 2e^{-2x} \left[e^t \right]_0^x \\ &= 2e^{-2x}(e^x - 1) = 2(e^{-x} - e^{-2x}) \\ h'(x) &= 2(-e^{-x} + 2e^{-2x}) = 2e^{-2x}(2 - e^x) \end{aligned}$$

x	\cdots	$\log 2$	\cdots
$h'(x)$	$+$	0	$-$
$h(x)$	\nearrow	極大	\searrow

$$\text{極大値 } f(\log 2) = 2 \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{4} \right) = \frac{1}{2}$$

$$(3) \quad \lim_{x \rightarrow \infty} h(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} 2(e^{-x} - e^{-2x}) = 0$$

$$\lim_{x \rightarrow -\infty} h(x) = \lim_{x \rightarrow -\infty} 2e^{-x}(1 - e^{-x}) = -\infty$$

- 5 (1) 1 (1) を参照.
 (2) 1 (2) を参照.
 (3) $\angle AOP = \frac{\pi}{3}$ より, (2) の結果から

$$\frac{\sqrt{a}(1-a)}{a+1} \bigg/ \frac{2a}{a+1} = \tan \frac{\pi}{3} \quad \text{ゆえに} \quad \frac{\sqrt{a}(1-a)}{2a} = \sqrt{3}$$

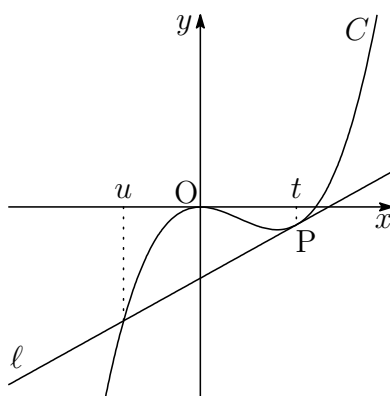
したがって $1-a = 2\sqrt{3a}$ ゆえに $a^2 - 14a + 1 = 0$

$0 < a < 1$ に注意してこれを解くと $a = 7 - 4\sqrt{3}$

- 6 (1) $y = x^3 - x^2$ より $y' = 3x^2 - 2x$
 ℓ の方程式は $y - (t^3 - t^2) = (3t^2 - 2t)(x - t)$
 よって $y = (3t^2 - 2t)x - 2t^3 + t^2$
 C と ℓ の方程式から y を消去すると

$$x^3 - x^2 = (3t^2 - 2t)x - 2t^3 + t^2$$

ゆえに $(x-t)^2(x+2t-1) = 0$ よって $u = -2t + 1$



- (2) (1) の結果から $a_{n+1} = -2a_n + 1$
 これから $a_{n+1} - \frac{1}{3} = -2 \left(a_n - \frac{1}{3} \right)$
 数列 $\left\{ a_n - \frac{1}{3} \right\}$ は, 初項 $a_1 - \frac{1}{3} = 1 - \frac{1}{3} = \frac{2}{3}$, 公比 -2 の等比数列で

$$a_n - \frac{1}{3} = \frac{2}{3} \cdot (-2)^{n-1} \quad \text{よって} \quad a_n = \frac{1}{3} \{ 1 - (-2)^n \}$$

- 7 (1) 実数を係数とする3次関数 $f(x) = x^3 + ax^2 + bx + c$ が $f(1-i) = 0$ を満たすから、 $f(x)$ は因数

$$(x-1+i)(x-1-i) = x^2 - 2x + 2$$

をもつ。このとき、 $f(x)$ の3次の係数および定数項に注意して

$$\begin{aligned} f(x) &= (x^2 - 2x + 2) \left(x + \frac{c}{2} \right) \\ &= x^3 + \left(\frac{c}{2} - 2 \right) x^2 + (-c + 2)x + c \\ f'(x) &= 3x^2 + (c-4)x - c + 2 \end{aligned}$$

$$f'(2) = 0 \text{ より } 12 + (c-4) \cdot 2 - c + 2 = 0 \text{ ゆえに } c = -6$$

$$\text{したがって } f(x) = x^3 - 5x^2 + 8x - 6 \text{ よって } a = -5, b = 8$$

- (2) $f'(x) = 3x^2 - 10x + 8 = (x-2)(3x-4)$ であるから

x	...	$\frac{4}{3}$...	2	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	極大	↘	極小	↗

$$\text{よって 極大値 } f\left(\frac{4}{3}\right) = -\frac{50}{27}, \text{ 極小値 } f(2) = -2$$

- (3) $f'(x) = (x-2)(3x-4)$ より

$$\begin{aligned} \int_1^2 |f'(x)| dx &= \int_1^{\frac{4}{3}} f'(x) dx - \int_{\frac{4}{3}}^2 f'(x) dx \\ &= \left[f(x) \right]_1^{\frac{4}{3}} - \left[f(x) \right]_{\frac{4}{3}}^2 \\ &= 2f\left(\frac{4}{3}\right) - f(1) - f(2) \\ &= 2 \cdot \left(-\frac{50}{27}\right) - (-2) - (-2) = \frac{8}{27} \end{aligned}$$